

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2016-41894 (P2016-41894A)

【公開日】平成 28 年 3 月 31 日 (2016.3.31)

【年通号数】公開・登録公報 2016-019

【出願番号】特願 2014-167146 (P2014-167146)

【国際特許分類】

E 0 3 D 9/00 (2006.01)

A 4 7 K 7/08 (2006.01)

【F I】

E 0 3 D 9/00 Z

A 4 7 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 14 日 (2017.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水分拭き取り材を保持可能なヘッドと、  
前記ヘッドが設けられたアームと、  
前記アームを略水平方向を向いた軸線回りに回転させるアーム回転駆動部と、  
前記ヘッドが排泄領域内と排泄領域外との間で移動するように、前記アームを変位させるアーム変位駆動部と、  
を備える臀部の水分自動ふき取り装置であって、  
前記ヘッドは、前記軸線に対して片側に偏心した位置に設けられており、  
前記アーム回転駆動部は、前記ヘッドが排泄領域内の所定位置に配されているときに、  
当該ヘッドの偏心方向が略水平の状態から起き上がるように、前記アームを前記軸線回りに回転させる、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の臀部の水分自動ふき取り装置において、  
便座と便器の間に設けられ、内部に前記ヘッドおよび前記アームが通る通路が形成される介在部を備える、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の臀部の水分自動ふき取り装置において、  
前記ヘッドおよび前記アームが出入りする出入口が形成された便器を備える、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の臀部の水分自動ふき取り装置において、  
内部に前記ヘッドおよび前記アームが通る通路が形成された便座を備える、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 5】

請求項 2 ～ 4 のいずれか一項に記載の水分自動ふき取り装置において、

前記アーム回転駆動部は、前記ヘッドおよび前記アームが前記介在部、前記出入口、または前記便座に設けられた前記通路を通るときに、前記軸線に対する前記ヘッドの偏心方向が略水平になるように、前記アームの回転位置を保持する、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の水分自動ふき取り装置において、  
前記アーム変位駆動部は、前記アームを鉛直方向の軸線回りに回動させるアーム回動駆動部と前記アームを前後方向に移動させるアーム前後移動駆動部とを備える、  
ことを特徴とする臀部の自動ふき取り装置。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の水分自動ふき取り装置において、  
前記アーム変位駆動部は、前記アームを前後方向に移動させるアーム前後移動駆動部である、  
ことを特徴とする臀部の自動ふき取り装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の水分自動ふき取り装置において、  
前記アーム前後移動駆動部は、前記ヘッドが便座の下、便座と便器の隙間、前記介在部、前記出入口又は前記便座に設けられた前記通路を通して排泄領域内と排泄領域外との間で移動するように、前記ヘッドおよび前記アームを前後方向に移動させるものである、  
ことを特徴とする臀部の自動ふき取り装置。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 に記載の臀部の水分自動ふき取り装置において、  
水分拭き取り材を前記ヘッドに自動供給する紙取付部が便座の後方位置に設置されたことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 10】

請求項 6 ～ 9 の何れか 1 項に記載の臀部の水分自動ふき取り装置において、  
前記アーム前後移動駆動部は、前記アーム回転駆動部により前記アームが前記軸線回りに回転されて前記ヘッドの偏心方向が略水平の状態から起き上がった状態で、前記アームを後方に移動させる、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 の何れか 1 項に記載の臀部の水分自動ふき取り装置において、  
前記アームは、前記軸線上に設けられた第 1 アーム部と、前記第 1 アーム部の一部から、前記軸線に交差する方向に延びた第 2 アーム部と、を有しており、  
前記ヘッドは、前記第 2 アーム部に設けられている、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 11 の何れか 1 項に記載の臀部の水分自動ふき取り装置において、  
前記ヘッドは、前記軸線方向から見て、前記偏心方向に長手方向を成す扁平な形状をしたものである、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 12 の何れか一項に記載の水分自動拭き取り装置において、  
前記ヘッドは、前記軸線回りに回転することで、水分拭き取り材を保持可能なヘッドから前記水分拭き取り材を開放する、  
ことを特徴とする臀部の水分自動ふき取り装置。